

# 国際教育学会 公開シンポジウム

## 「求められる教育…学力とモラル」



2013年9月14日(土)  
 京都大学基礎物理学研究所  
 湯川記念館パナソニック国際交流ホール  
 開催事務局 / 京都大学経済研究所



千里金蘭大学・生涯学習センター  
非常勤講師 中林 眞佐男 氏



一般社団法人CCCプロジェクト  
代表理事 奥村 聡 氏

総合同会を務める九州大学基幹教育院准教授・木村拓也氏より開催挨拶があり、公開シンポジウムがスタートした。講演者の発表は約10分で、その後、活発な質疑応答が繰り広げられた。

### 第一部「効果的な学習」

#### 構造主義再考

「自己、非自己」  
 循環理論の視点から  
 京都大学基礎物理学研究所  
 准教授 村瀬 雅俊 氏

スクリーンに映し出された大樹の絵からどのような情報が読み取れるでしょうか? 「実は隠し絵ですよ」と言った瞬間に視点が変わり、空間にサイヤゾウが見えたりします。情報を読み取るには、何についての情報か、情報の情報、つまりメタ情報が必要なのです。

「出生年ごとにみた米国の大学入学適性試験(SAT)の国語の成績」というグラフを見ていただくと、「学力の低下」としか見えませんが、その背後にある全体像は全く見えてこない。例えば教育制度が変わった、問題が難しくなった、学生数が増えて平均点が下がった等、仮説としてはすべてありえますが、何が本質か見ていくのに、このグ



京都大学基礎物理学研究所  
准教授 村瀬 雅俊 氏

ラフとは違う情報を読み込む必要があるということ。世の中には予測ができないことがいっぱい起こります。予測できない、カオスに対応するために、自身が情報源を持ってメタ情報を抽出し、物事の本質を見抜いていくことが大切です。

#### 日本の生涯学習に関する考察

「アンケート調査に基づいて」  
 千里金蘭大学生涯学習センター  
 非常勤講師 中林 眞佐男 氏

わが国では生涯学習の参加者は増加の一途をたどっています。最近では、全国の自治体でも「生涯学習」に熱心に取り組んでいます。

大学における生涯学習は、少子化、大学全入時代を背景に、手持ちの教育インフラが活用され、社会人入学制度などをアピールしていますが、アメリカのようにMBA(経営学修士)を取

っている手ごたえを感じています。

#### 日本の少子化と中国(天津市)の一人っ子政策が社会的行動の発達に与える影響

帝塚山学院大学人間科学部  
教授 平塚 儒子 氏

2010年に日本における「いじめやハラスメントを目標した時の倫理的行動」について調査したところ、「通報は良いことだ、よく行っている」は1950年代の出生者の35.4%をピークに、下がり続け、1990年代以降ではわずか10.0%になり、反対に「通報は良いことだ、しかし行わない」が80.0%に達しています。

2013年に行った「いじめの経験者のうち、被害者、傍観者、加害者、通報者の内訳」についての調査結果では、「いじめの経験をした」が61.4%で、しかも、いじめの加害者・傍観



帝塚山学院大学人間科学部  
教授 平塚 儒子 氏

また学校教育との関係においても、現在では学習塾の講師が公立学校の授業に参画し、公教育を補完する形で連携するところまでできています。しかし、私の考えている「塾教育」はさらに一歩進んでいます。学校と塾との垣根を取り除き、学校の先生と塾の先生とが互いの偏見を捨て、「補完」ではなく「対等の立場」で連携し合うものです。

#### 塾教育

須原英数教室  
塾長 須原 秀和 氏

塾は「家庭教育」の補完という形で生まれました。しかし、核家族化や女性の社会進出等の社会現象によって、単に学習面の「補完」ばかりでなく、塾には「第三者」として、保護者と連携して、しつけやマナー教育を含めた子育てをすることが求められるようになりました。

得しても学位による経済的効果は少ないのが現状です。そのため、女性や高齢者が見識を高めるために利用する場が多いのです。

今年5月に実施したアンケート調査(千里金蘭大学、よみうり天満橋文化センター、大阪狭山市他、27か所/計120件)の分析結果などを踏まえ、これからの生涯学習でポイントになることは、生涯学習は教養だけでなく、政治・経済、行政の問題にまで踏み込み、その問題点について提案していく必要性です。生涯学習の機会を通して社会参画をしていく時代だと思います。

#### 公立小学校での21世紀型国際教育の実践報告と検証

「ライブ動画を用いた日豪間1対1外国語コミュニケーション授業の実践」  
 一般社団法人CCCプロジェクト  
 代表理事 奥村 聡 氏

楽天リサーチが登録モニター約225万人から未成年の子どもを持つ男女1,000人を対象に実施したインターネット調査では、86.6%が「日本の英語教育に不満」を持っていて、日本の外国語教育の問題点として、41.5%が「国際的な人材育成制度の遅延」を挙げています。

CCCプロジェクトは、公教育の中で21世紀を生き抜くグローバル人材を育成する、新しい形の外国語教育プロジェクトです。具体的には、日本語を勉強しているオーストラリアの子どもと日本の子どもがインターネットを通じて1対1で会話をします。事前に話しかけられる内容を手元に置き、日本語と英語の両方で会話を交わします。「必ず通じる仕掛け」をしながら、英語を使って何を伝えるか、コミュニケーションを図る努力をするよう指導しています。2011年から活動を開始し、今は対応しきれないほどの学校から参加希望があり、理解を深めてもら





須原英数教室  
塾長 須原 秀和 氏

塾の講師が「第三者」として講演することにより、先生は自分の学校と自身自身をより客観的に把握でき、また生徒諸君へは勉強への動機付けや先生との一層の深い信頼関係の構築に威力を発揮します。アンケート調査やコメント等に、その現実の成果が表れています。

現在は「家庭教育」「学校教育」「社会教育」の3つの輪の結びつきが希薄になったり、離れたりにしています。この3つの輪を有機的に結び付けることができるのが、4つ目の輪「塾教育」であると確信しています。

### 英語スピーチ導入の試み

神戸女学院大学  
教授 川越 栄子 氏

現在、大阪大学・神戸大学の医学科の学生も教えています。数年前、医学科の英語教育について調査を行い、医学部の8割で論文を読むという授業が



神戸女学院大学  
教授 川越 栄子 氏

行われていたが、医療に関する英会話、論文作成、あるいは学会発表というのは手薄だということがわかりました。そこで、微力ながら何とかしようと、2011年に「実践的時事英語 医療版―ザ・デイリー・ヨミウリを読む」を出版しました。

私の授業では、学生が本書のいろんなトピック、例えば、高齢化問題、臓器移植、癌の代替医療等を読み、その記事について賛否の立場を設定して、英語でスピーチ原稿を書き、暗記して3分間スピーチを行うという試みをしています。他の学生はスピーチを聞いて評価し、その後4〜5人に分かれてそのトピックについて英語でディスカッションをします。

ほとんどの学生がこの授業に意義があったと評価してくれました。これからもこの試みを広げていきたいと考えています



東京農業大学・前世田谷区教育委員会  
教育長 若井田 正文 氏

ます。

平成18年に設置された検討委員会では、この取り組みの大前提として、「子どもたちに考える力」を育てることが肝心だという認識を共有しました。地域へも協力を依頼し、平成21年から全校で本格的に実施しています。

今年3月、学校の取り組みに関する調査を行い、教職員の指導力の向上、保護者・地域との連携等が課題として上がっています。

### 法曹養成過程における 科学技術知見の学習

弁護士 中村 多美子 氏

JST(科学技術振興機構)で2009年から今年の3月まで、法律家と科学者、研究者などが参画したプロジェクトに携わりました。

法曹が法律家として仕事をするうえで、DNA鑑定などの科学技術の知識が必要になることが度々あります。本



弁護士  
中村 多美子 氏

来、法律家と科学者が「科学技術に関する法的規制」などについてディスカッションし、理解を深め、つくり上げていかななくてはなりません。

しかし、現状は、法律家にとると科学技術は非常に難解ですし、科学者も法に対して敬して遠ざける態度をとっているのではないかとわれています。こうした文化的な衝突のもっとも大きな原因は、双方が理解しようとしないうことにあるといわれ、言葉の問題も協働障害の一因に挙げられます。

私どものプロジェクトは、「法と科学のハンドブック」を作成し、これから科学裁判にかかわる法律家の方、もしくは科学者の方が、「法と科学」について知っておいていただきたいことをまとめました。

### 教育現場における メタ認知的学習の意義

日本赤十字豊田看護大学  
教授 村瀬 智子 氏

私は「熟練看護師のライフヒストリーにおける学びの過程」について研究してきました。

自殺未遂後に入院し、退院できるまでに回復したうつ病の50歳代の患者を受け持つ看護師の例を紹介します。

「私の人生ってマラソンみたいだね。走り続けて疲れちゃった。退院して元に戻れるかしら？」と、患者から心境を打ち明けられたケースです。

看護師はまずはその考えを受け止め、「でも、私は元に戻ってほしくない。元に戻ったら、またマラソンをして、同じことを繰り返すのではないでしょうか」と自分の考えを述べ、患者から「新たな人生を生きたい」という言葉が生まれました。患者の認識に対立的共存関係を設定することで、患者の持てる力を生かした回復過程を支える援助ができました。

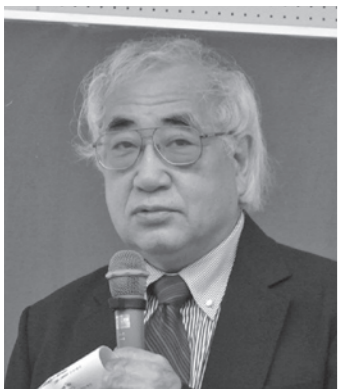
人間を対象とした学問分野や教育分野においては、メタ認知的学習法を取り入れることで、自己の経験と理論を循環させ、能動的につなぐ学習効果が期待できます。

### キャリア形成に 規範が果たす役割

国際教育学会  
会長 西村 和雄 氏

日本青少年研究所が行った調査(1999年)では、日本を米国、中国と比較すると、「先生に反抗する子どもが圧倒的に多く、教師を尊敬できる子どもが圧倒的に少ない」という結果でした。「ゆとり教育」により、子どもは道徳的になっていないどころか、人によってはより非道徳的になり、問題行動も増えてきました。

そこで、私が提案することは、就学前教育において、「最小限のルールを徹底させる」ことです。ルールを理解させる必要はなく、繰り返すことで潜在意識に定着させ、ものごとの善悪を測る「ものさし」を身に付けさせます。もちろん、その通りに進まず、「人を傷つけないための嘘は必要」など、ルールを破る必要性も出てきますが、最



国際教育学会  
会長 西村 和雄 氏



日本赤十字豊田看護大学  
教授 村瀬 智子 氏

### 第一部「モラルと日本流」 人格の完成を目指して ―世田谷区の取り組み―

東京農業大学  
前世田谷区教育委員会  
教育長 若井田 正文 氏

平成16年に世田谷区教育委員会教育長になり、「子どもたちの道徳性を伸ばし、よりよい生活習慣を身に付けさせる」という世田谷区施策、取り組みを「世田谷区教育ビジョン」に明確に位置づけました。

各月、テーマが決められ、例えば、4月は「あいさつ」、9月は「勇氣」、11月は「フェア」など、それらのテーマをすべての区立小学校・中学校、約100校の生徒に自ら考えさせ、目標を立てさせ、そして振り返らせる、ということを指導する取り組みです。

9年間、同じ月と同じテーマで自分を振り返り、「人格の完成」を目指し



参加者たちはたくさんの講義内容にも熱心に耳を傾けた

初に基本的モラルをしつかり学ばないと、正しいルールの破り方も学ばないのです。

インターネット調査でしつくと所得の関係を調べたところ、「嘘をつかない」「他人に親切にする」「ルールを守る」「勉強する」という4種のしつつけをすべて受けた人を、「いずれも受けた記憶がない」とした人と比較すると、平均年収が約86万円上回るという驚くべき結果でした。

第三部では、「企業にとつての4つのモラルの重要性」と題し、パネル・ディスカッションが行われた。

※誌面の都合により、講演内容を略述しています。